

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	ミーティング・ケアカンファレンス・勉強会時にスタッフ同士で再確認の意味で唱和する
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	運営推進会議、御家族へと通信、家族会等で理念のプリントを配布し理解をいただけるよう実施する
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	・月1回町内会主催のふれあいサロンに参加し地域高齢者の方々、当入居者との懇親を図っている。 ・食改善推進委員会活動を通して知り合った方が、気軽におやつ作り等に来ていただきました。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	月2回の公園清掃は忘れがちであつた。別府北公園は町内の諸々のイベント、当ホームのイベント、散歩の場所に入居者の生活を支えてもらっている。声を掛け合い常にスタッフだけでも参加し感謝の気持ちを表し、更に地域交流を深めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域活動を通して知り合った独居老人の方へ何かイベント時には招待したりと繋がりを大事にするよう取り組んでいる。	○	ホームへと適宜お越しいただいたりまた、お宅へと伺ったりすることで何か役に立つことがないか見出していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価を通して出来ている部分はさらに向上出来るように、改善する箇所はスタッフ全員で話し合いどのように取り組んでいくかを挙げ取り組んでいる。	○	前年度の改善事項を家族会で話し合い、ご理解をいただいた。 (スタッフが入れ替わることへのご家族の不安)
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催にてホームの現在の状況や活動内容、問題点等を挙げそれに対してのご意見や助言を地域代表や御家族代表者からいただいている。それを踏まえて出来る限り実行へと移し向上に努めている	○	今までの会議での意見、助言を再確認し、洗い直し、意識し更にご入居者、スタッフがよりよい生活、やりがいのあるケアの充実へと取り組む。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各窓口への電話での確認や伺っての相談、また地域での行事の参加を積極的に行い質の向上へと繋がるように努めている	○	通信や事故報告書、何かあれば出向いている。区役所主催のオレンジの会とも連携し相互に協力している。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	内部研修会を11月に開催した。 スタッフは権利擁護・成年後見制度の講習会へと参加したり月に1回のミーティング時には挙げているが制度自体の詳細の把握や、全スタッフが意識するにまでは至っておらず今後の課題に挙げられる。	○	研修への積極的な参加。内部研修での考える場を設け理解に努める。 ・成人後見人制度を利用されているご家族もいる。 面会時、必要なご家族には施設長が話をしている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月に1回はミーティングの場を設け全員で考え意見を挙げお互い注意を払って取り組んでいる。また幅広くいろいろな意味で虐待への意識を持つよう日々のケアで心掛けている	○	スタッフのストレス軽減を図れるような雰囲気作りを工夫していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○	御家族が気を遣わずに御意見が言いやすい環境作りに努める。 福祉サービス苦情解決制度のポスターを掲示している。 本年度より、年2回ご家族へ「葉書き」でアンケートをいただくようにした。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○	介護現場のスタッフの実際の意見を些細なことでも「言う」ことから始め働きやすい職場環境を目指していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者へのダメージや不安の軽減・防ぐよう運営者はスタッフが楽しく働きやすい職場環境を心がけ、スタッフは日々のケアの中で入居者へ安心へと繋がるケアに努めている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢・性別・経験・資格等は問わずに面接を実施している。また事前にボランティアとして職場の雰囲気を感じていただき採用に至っている。またスタッフ個々の個性を大切に長所を活かせるような職場環境、スタッフの権利を尊重するよう努めている。		
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権の尊重を含め毎月の事故対策・リスクマネジメント委員会や虐待・身体拘束委員会、感染対策委員会の開催にてお互い学習し意識しながら日々のケアに望めるよう取り組んでいる。		
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各事業所が集まり年間を通して新人・現任・リーダー・全体を対象としての研修を開催している。また外部での研修には積極的に参加するよう支援したり、事業所内部研修にて毎月1度開催し取り組んでいる		
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修にてさまざまな事業所との関わり情報交換や相談、勉強会を行ったりすることでネットワーク作りやスキルアップへと努めている		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に2度の個人面談の実施や適宜アンケートやミーティングにて心身負担の把握に努め、それに対して軽減に努めるよう職場全体で取り組んでいる。また福利厚生での余暇を楽しんで頂ける様な取り組みをおこなっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年2度の自己評価表の作成、個人面談を基に昇給・昇格の規定を明確にしている。また個々の努力、能力アップ、研修参加意欲を確認し正職員やリーダー候補を多く育て働く意欲とやり甲斐を掴み取るよう努めている		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の体験入居等を通し御本人の困っている点や不安感、一番のニーズを行動や言動、何気ない会話の中から傾聴し、共感・受容するような関わりを心がけ信頼関係の構築に努めている		
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御本人のこれまでの生活歴や現在の心理、それに対しての御家族としての想いや心情を時間をかけて伺い、ホームの理念を踏まえながらのケアの姿勢をお伝えし、御理解をいただきながら信頼関係を築くよう努めている		
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の心身状況や生活状況それを取りまく環境を伺いながらも御家族の不安の軽減を、何より御本人が今一番必要としていることの把握に努めながらさまざまなサービスの利用を含めた対応を行っている		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を通して雰囲気や食事、ホームでの生活を感じていただきながら馴染んでいただき、安心へと繋がるよう御家族と相談しながら馴染みの家具や装飾品を準備し、御本人の人柄を尊重しながらの生活の工夫に努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームの理念を意識しながら入居者との何気ない会話や関わりを通して日々勉強させていただいている。一緒に笑い、怒り、喜怒哀楽を共にしながらも尊敬・尊厳を念頭にお互い支えあい感謝し合える関係作りに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	いろいろな行事やイベント時には御家族へ参加していただくよう働きかけ、一緒に楽しみながら同じ時間を共有できるよう努めている。また御家族の意見や助言をいただき反映できるよう面会時や家族面談・家族会時には意見交換を行い一緒に本人を支えていけるよう努めている		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御本人の生活歴等伺い、御本人と御家族との気持ちや想いを感じ、それを踏まえて御家族と一緒に過ごせるような時間や環境を作れるよう努めている	○	御本人の状況にあった、御本人が楽しめるようなレクリエーションの機会を沢山設けている。
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族から知り得た情報や会話の中での御本人の大切な事や大切な人を聞き連絡を取ったり、また来訪できるよう支援したり思い出の場所へと外出したりと支援に努めている		
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事の席を配慮したり相互の関係の把握に努めながらもいろいろな方と関わりが持てるようなレクリエーションを行い、ふれ合いながら支え合うよう支援に努めている		
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	暑中見舞いや年賀状での挨拶をおこなっている。	○	ホーム主催のイベント時には声を掛けて関係を大切にしてい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や御本人の仕草や表情からの気持ちや想いの把握やアセスメントを心がけ如何にそのニーズに添っての支援、行動へと起こせるかスタッフ全員で意見を出し努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書にて家族構成や生活歴等の情報を御家族から伺い資料として記録している。また日々の関わりや御家族来訪時に得た情報は申し送り、記録に残し事でスタッフ全員での共有をおこなっている		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の出勤者全員での申し送り時でのその日の個々の状態の把握に努め、また1ヶ月毎の生活状況や健康状態をケアプランを通して作成した「ふれあい通信」を全スタッフが回覧し把握に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフは御本人や御家族から意見を伺い、月1回のケアカンファレンス、モニタリングや日々のアセスメント、家族面談時に全スタッフ、御家族と一緒に御本人のニーズを見出している。また主治医のアドバイスを取り入れ安楽、生きがい、楽しみ、笑顔、自信をもたらすよう介護計画書の作成に努めている		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に応じた見直しを行い、それ以外でも状態の変化や緊急時には必要な医療機関や御家族、御本人の意見を伺った上でケアプランを見直し新たに作成している。		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	普段の関わりの中で知り得た情報や介護の共通認識、支援したことに対しての反応や結果、その時の様子等小さな気づきでも個人申し送りファイルへと記載したりケアカンファレンス時に用いてケアプランへと結び付くよう取り組んでいる		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出でのレクリエーションや御家族との外出、病院受診等では会社が所有している車で送迎をおこなったり、また同事業の横の繋がりを活かしたり時間毎の決まりを設けるのではなく個々に添った生活を支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年2回の消防訓練、年1回の救命講習では消防署のご協力の下地域の方、入居者と一緒に行っている。民生委員や町内ボランティアの方による食事作りを支援をいただいたり地域の行事には入居者に合った関わりを取り組んでいる		
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	御本人の希望に応じ、また御家族のご理解をいただいた上で自費にて訪問マッサージや整骨院の利用をしている		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現時点では地域包括支援センターとの協働は行っていないが窓口へは定期的に管理者が出かけ今後のためにと関係作りを行っている		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の有無を確認し、御本人・御家族の意向を伺っている訪問診療医を主治医に希望されたり専門医へ通院を希望される入居者がいらっしゃいます。主治医とは24時間体制での連絡がとれ、月2回のドクター往診、月2回の看護師往診や状態の変化に応じて往診に来ていただいたりと医療との連携を図っている。その他にも週1回の歯科医師、衛生士による口腔ケアを受けている		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療連携の契約を結んでいる医師と認知症に関してのアドバイスや診療、それ以外でも医療的な面での相談、助言をいただき、そのことに関しても診断や治療が受けられるよう支援している		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護の分野に置いて何気ない事を相談したり留意点を伺ったりと取り組んで入居者の医療的なサポートに努めている	○	契約医療機関の看護師と、訪問看護日は勿論、日常何かあれば、電話相談をおこなっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時にはスタッフは交代で病院へと伺い入居者の様子や状態などの把握に努めたり安心を抱いていただくよう努めている。また御家族を中心に病院側やホーム側の情報交換を行いながら早期退院できるよう体制を整えるようにしている。		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応や看取りについての実施に向けた文言を重要事項説明書に記載し、看取り介護・医療に関する同意書の見本を添付し、必要があれば御家族、主治医と話し合いの場を設け方針の共有をしている		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームとしての出来る事・出来ない事を主治医との意見を踏まえながら挙げ、それについて御家族、主治医、管理者、現場スタッフにて話し合い今後の方向性の支援を御理解、納得していただき必要があれば同意書へのサインをいただいている。主治医や看護師の指導を下にチームとしての支援に取り組んでいる		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	当ホームから在宅へと戻られた入居者へは訪問介護事業所へ情報の提供を行い、馴染みのスタッフが訪問しサービスの提供をおこなった。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	申し送り時に毎日介護の心得を唱和し、利用者への対応、接し方についてスタッフ一人一人が考える時間を作っている。個人情報の守秘義務については採用の新人研修で重要性を理解している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	介護者本位の声かけにならないように、御本人に飲み物、ご飯のおかわり、外出希望など多くの選択の機会を作れるように努めたりと何事にも選択の機会を作り、その選択に対しての自由を受け入れるような支援を行っている		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者の話をしっかり傾聴し、希望、要望を把握し、記録などから性格、今までの生活、好きなものなどご入居者に関する情報を知り、その人のペースに合わせ支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日同じ洋服にならないよう気をつけながら外出時にはお化粧をいっしょにおこなったり希望があればなじみの理美容店でお洒落を楽しんだりできるよう努めている		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を伺いながら食材の買い物を一緒に行ったり、一緒に調理を行ったりと食事づくりの段階から楽しみながら食事時には個々の摂取、咀嚼、嚥下など考慮しながらその人に合った食事形態を心掛けている		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の嗜好の把握に努めながら好きなおやつを買いに出かけたり晩酌でお酒を楽しまれたりと本人本位で楽しめるよう努めている		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一日のオムツの使用状況等を記録に残しながら排泄状況の把握を行い、スタッフ同士での声の掛け合いを大切にオムツ使用量の軽減に努め、また入居者のその時の様子や表情などから適宜トイレへの声かけをおこないトイレで気持ちよく排泄が出来るよう支援に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼間、夜間等時間にとらわれずに入居者の希望を優先しながら入浴での支援をおこなっている。入浴を楽しんでいただけるようスタッフ間での連携を行うよう注意して取り組んでいる		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	固定観念にとらわれずに入居者1人1人が如何に安楽に安心して安眠できるかスタッフ間で話し合い、心身の状態も考慮しながら休息をしていただいたり支援を行っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人1人の生活歴や今現在の能力の把握に努めながらその方の状態にあったレクリエーションをおこなったり食事作りや買い物等日常生活での役割を持っていただくことで充実感を得られるような日々を過ごせるよう努めている		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全ての入居者がお金の所持はできてはいないが、買い物の際にはお財布をお渡しし、好きなものの購入をして頂いたり御家族の御理解の下ある程度のお小遣いを所持していただき好きなときに自由に使えるような支援に努めている		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買い物や散歩には心掛けており御本人の希望にできる限り添えるよう馴染みの場所への外出等に出かけたりと支援をおこなっている		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月行事計画を全スタッフで挙げ個々のニーズに応じて馴染みの場所での買い物や演劇鑑賞などの外出の支援に努め、また場合によっては御家族とも一緒にでかける機会作りの支援をおこなっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人が御家族への電話を希望された時には電話をしていただいたり、何か品物が送られてきた際にはお礼の電話を御本人からかけていただいたりとおこなっている		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気を遣う事無いよう来訪時には笑顔での挨拶や会話を意識しながら行事の参加や話題提供を心掛けている。また友人等事前に来訪することが分かれば入居者と買い物に出掛けて楽しく過ごせるよう準備を行ったりと努めている		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回身体拘束・抑制廃止委員会を開催しスタッフ同士で日々のケアの中での気になる点を確認し理解を深めながら身体拘束がおこなわれないよう取り組んでいるが、全スタッフ正しく理解するにまでは至っていない	○	身体拘束についての理解を深める為さまざまな研修への参加。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯の為玄関の施錠はおこなっており、入居者も就寝時には自室の鍵の施錠を行う方もいらっしゃるが、それ以外ではスタッフ全員で鍵はかけないようとりくんでいる		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	9時・18時には在所者数の確認をおこない記録に残し出勤スタッフで1人1人の所持の確認と把握をさりげなく配慮しながら努めている。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の生活や自立支援を考慮しながら必要物品やリスクが高い物品等管理のあり方を考えながら環境の整備や状況に応じての工夫を行いながら危険防止には注意を払いながら取り組んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急や災害、入居者単独での外出等、緊急時の対策マニュアルを作成し、消防や心肺蘇生の訓練を消防署の御協力の下実施している。また個々の心身状態に応じての環境整備やケアのあり方など確認しながらの事故防止を努めている		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に消防署の御協力の下で心肺蘇生法やAED使用の訓練の実施を行っている		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけをしている	災害等の緊急時の避難方法の訓練の実施を行い、またスタッフで校区の防災訓練への参加も積極的に行い自治会長や地域防災委員、地域の人々との協力も得て整備徹底が来ている。		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者の心身の状態の変化や起こりえるリスクを意識しながら家族面会や家族面談時に抑圧感のない生活支援の対応策を話し合っている。またそれに伴い生じるリスクについての説明をし理解を得られるように努めている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日定時でのバイタル測定の実施にてその日の健康状態の把握を行いながら勤務スタッフ同士での確認を行い、異変の際には医療機関への連絡を行い迅速な対応を行っている。また何か状態の変化がある場合は必ず記録に残すことを徹底し場合によっては御家族への報告を行っている		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の準備や服薬時にはスタッフ2人以上で日にち・名前・朝昼夕の確認を行っている。処方箋は個別に分かりやすくファイリングし確認が出来るように行い、服薬について変化等見られると記録に残し場合によっては医療機関との連絡を行っている。	○	薬に関しての用法や用量・副作用等の理解に努め誤薬が起こらないようこれまで通り2人以上での服薬確認を徹底していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来るだけ薬に依存しないよう食事面では繊維質の多い野菜や炭水化物の食物を献立に取り入れたり、腹圧や腹部マッサージを排泄時には心掛けたり、運動量が上がるような日々のレクリエーションに努めている		
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必要だと考えられる方へは毎食前後の口腔ケアや口腔内マッサージ、唾液腺マッサージを行い、歯科医師、歯科衛生士との連携を取りながら口腔状態の把握に努めている		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要な方への水分摂取状況を把握するためのチェック表の作成や、血液検査結果での数値と照らし合わせながらの個々に合わせた食事量や盛り付けを行いながら献立は減塩で野菜を多くバランス良く栄養が保てるよう支援に努めている		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成し月1回感染症対策委員会の開催にてスタッフ間で意見を出し合い意識し予防に努めている。年1回のインフルエンザ予防接種の実施やホームへ入る際には手洗いうがい消毒の徹底を行っている。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	また板・包丁は「肉、魚、野菜」に使い分け使用している。また夜間はこれらの調理器具やふきんの消毒を毎日行い、周1回冷蔵庫の掃除消毒を行うよう努めている。また魚や野菜は毎日新鮮な物を配達して頂いている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲には植木やプランターを置き草花を植え、駐車場横の畑には野菜を育てたりと普通の家屋の雰囲気での親しみをいただいているよう工夫している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2階にはブラインドをつけ不快な光や温度の上昇を抑えるように行っている。季節感を感じていただく為、クリスマスなどは装飾をつけるなどしてその季節を感じて頂ける様にしている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	全員でいることを強要せず、居室で過ごしたい時は過ごせる自由な環境や雰囲気や大事にしている。仲のいいご利用者同士で居室で談笑されたりしている。		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具やタンス、仏壇など昔から使い慣れたものを使用し、昔住んでいた場所の匂いを残しつつ環境を変えないよう努めている。壁には御家族の写真や誕生日の時のメッセージカード、遠くにいらっしゃる御家族のお手紙などを見える位置に貼り、温かみのある空間作りをしている。		
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめにやっている	温度計と湿度計をかけてこまめにチェックしている。冬は乾燥しないように湿度40%を保てるように、加湿器、霧吹き、換気を行っている。居室の換気は掃除のときや訪室の際は必ず行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子でもゆったり通れるように廊下は広く作ってある。テーブルはご利用者の身長に合わせて低いのと高いのがある。イスに関しては脚の先にテニスボールをはめ転倒防止に役立っている。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご利用者の目の見えるところにお手玉や絵本、折り紙を置いており、いつでも楽しめるような環境作りに努めている。料理の際も料理が好きな方、出来る方の残存能力を活かせる様に努めている。	○	食器収納がご自分でスムーズにできるよう、食器棚に名前を貼り自立支援を行っている。
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節に合わせ畑で作物を育て、ご利用者と一緒に収穫祭を行っている。ガーデニングもしており、散歩の帰りにお花を摘んでリビングに飾ったりしている。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
		○	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

美味しく、楽しく自分のペースで口からの安全な食生活が営め満足感が味あえるよう、栄養のバランスを日々勉強しながら、好きな食べ物、飲み物を多く提供できるよう取り組んでいる。また、心身機能活性化を目的とした口腔ケアに力をいれ支援しています。 ・ご入居者の個々の状態、ニーズに副いながらリスクも視野に入れ残存能力、機能引き出しの遊びを目的とした支援（例：歩行状態不安定な方と立位を保ちながらのチャンバラ遊び、かけっこ遊び、競争遊び。）を行いスタッフも一緒に心身爽快を感じ、生活の中にゆとりや楽しさを広げていくことも目的としたレクリエーションの実施。 ・地域密着型サービス及びホーム理念（得意とする事を生かしながら、誰かのお役に立つ喜びをかんじる。）を核としながら、地域の方々との気さくの中に感謝の気持ちを表していくふれあい、関わり。（ホーム主催：梅干作り、秋祭り、餅つき大会。大勢の地域の方、ご家族、ご入居者、スタッフで協力しながら楽しんでおります。）